

今月の特集

注文住宅の失敗例とその対策

注文住宅を検討する際には、慎重な計画が必要です。しかし、多くの人が理想の家を建てる過程で後悔や失敗を経験しています。ここでは、よくある後悔事例とその対策、失敗しないためのポイントについて詳しく紹介します。

失敗しない家づくりは
事前の計画がカギ

注文住宅は多くの人にとって人生で最も大きな買い物の一つです。しかし、理想とする住まいを実現するには様々な課題があり、事前に対策を立てないと失敗してしまう可能性も多分に秘めています。最も多いのが間取りの失敗です。図面上では使い勝手が良さそうに見えても、実際に住んでみると、いろいろな面でストレスを感じる箇所が出てくるものです。例えば、プライバシーを守れない間取りや動線の無駄が多いなど、実用性に欠ける面が浮き彫りになることがあります。間取り計画での失敗を防ぐには、家族全員のライフスタイルを想定した上で、将来の変化にも柔軟に対応できる間取りを心がける必要があります。

次に多いのが収納スペース不足です。家具や生活用品を十分に収納できないと、すぐに家の中が散らかった状態になってしまいます。特に子育て世帯では、おもちゃや絵本など散らかしやすいものが多いため、収納を意識した設計が欠かせません。各部屋に収納スペースを十分に確保し、ウォークインクローゼットやパントリーなどの大型の収納も取り入れると良いでしょう。

また、断熱性能の不足も見逃せない失敗例です。日本の気候は夏と冬で寒暖の差が大きいため、断熱性能が不十分だと、夏は過剰に暑く、冬は極端に寒くなり、快適な住環境を保つことができません。エアコンの無駄な使用にもつながるため、高性能な断熱材を使用し、窓の断熱性能にも注意を払う必要があります。

きめ細かなカスタマイズと
高性能が「FPの家」の特徴

このように、注文住宅には様々な失敗のリスクがありますが、事前に対策を立てることで理想を形にすることができます。詳細な計画を立てるとともに、信頼できる工務店の選定も欠かせません。実際の施工例を確認して技術力をチェックしたり、

口コミやインターネット上の評判を参考にすることで、自分の理想をしっかりと実現してくれる工務店を見つけましょう。

そんな理想の高性能住宅として注目されている「FPの家」は、家主やその土地に合わせてきめ細かくカスタマイズされた提案が可能で、高断熱・高気密性能によって、夏は涼しく冬は暖かい快適な室内環境を実現します。加えて、堅牢なFPパネルと確かな施工により、長期にわたる耐久性と安全性も備わっています。理想の住まいを建てるため、「FPの家」は候補に入れる十分な価値があります。失敗リスクを払拭し、理想を適切に形にする注文住宅「FPの家」を住まいづくりの選択肢に、ぜひ検討してみたいかがでしょうか。



住まいる知恵袋

借地権



借地権とは、他人の土地を借りて自分の建物を建てる権利のことで、大きく分けて賃借権と地上権の2種類があります。賃借権は、土地を一定期間借りる権利で、通常20年から30年程度の期間が設定されます。賃借権の売買や建物の改築には地主の承諾が必要となります。一方、地上権は長期間にわたって土地を使用できる権利で、期間は通常50年以上と長期にわたります。地上権者は地主の承諾なく地上権や建物を売却できるなどの強い権利が認められています。借地権は、土地を買わずに建物を建てられるため土地代がかからず、初期費用を抑えられることです。ただし、借地期間が終了すれば建物を除去しなければならないというデメリットもあります。

お金の豆知識

基準地価

国土交通省では全国約2万6,000地点の標準的宅地について、7月1日時点の1㎡当たりの適正価格を判断し、9月下旬に基準地価として公表しています。基準地価は相続税・贈与税の算定基礎となるほか、地価公示価格と連動して地価動向の重要指標にもなっています。また、不動産取引の目安としても活用されています。



暮らしの1ポイント!

海の日



海の日、海の恩恵に感謝するとともに、海洋国家である日本の繁栄を願う祝日です。1996年に施行され、元は1941年から7月20日の「海の記念日」として制定されていました。海に囲まれた日本にとって、海は生活や産業に欠かせない存在であり、海の日はその恵みへの感謝の気持ちを新たにしている日となっています。

できた! 簡単DIY

植木鉢風鈴



小さめの植木鉢を使えば、手軽に本格的な風鈴を作ることができます。用意する材料は、陶器や素焼きの小ぶりの植木鉢、大きめのビーズ、短冊用の折り紙、そして紐です。まずは、紐の端に吊り環を作ってビーズを通して結びます。次に、植木鉢の底面の穴に紐を通して、植木鉢に当たって音が出るように、もう一つのビーズを紐に通して結びます。その先に短冊を結び、最後に風通しの良い場所に吊ると完成です。植木鉢の形状や素材で音色が変わるのが魅力で、陶器なら高音、素焼きなら低音の涼やかな響きが楽しめます。ビーズの組み合わせを変えれば、自分だけの独創的な風鈴ができあがります。夏風に吹かれる自作風鈴の音色に、新鮮な涼を感じることでしょう。

おしえて! Dr.住まいる

照明器具のお手入れ

照明器具は、ホコリが溜まりやすいため、定期的な清掃が重要です。まず電源を切り、冷ましてから布やブラシでホコリを拭き取ります。次に中性洗剤を薄めた水溶液に布を浸し、丁寧に拭き上げた後、乾いた布で水分を完全に拭き取ります。プラスチック製なら最後に静電気防止スプレーを吹きかけます。

